

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**コンツェルトパーク中筋駅前式番館**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>			<b>2.6</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00		<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
	1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00		
	2 設備騒音対策		-	-	-	-		
<b>1.2 遮音</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.9</b>	0.40		
	1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
	2 界壁遮音性能	界壁は、コンクリート18cm以上で、GL工法を用いていない	-	-	4.0	0.30		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-40相当の床材を採用している	3.0	-	5.0	0.20		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50相当の床材を採用している	3.0	-	4.0	0.20		
<b>1.3 吸音</b>			<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>			<b>2.2</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00		<b>4.5</b>
<b>2.1 室温制御</b>			<b>3.0</b>	0.63	<b>5.0</b>	1.00		
	1 室温設定		-	-	-	-		
	2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-		
	3 外皮性能		3.0	1.00	5.0	1.00		
	4 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
	5 温度・湿度制御		-	-	-	-		
	6 個別制御		-	-	-	-		
	7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-		
	8 監視システム		-	-	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>			-	-	-	-		
<b>2.3 空調方式</b>			<b>1.0</b>	0.38	-	-		
<b>3 光・視環境</b>			<b>2.4</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.7</b>
<b>3.1 昼光利用</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50		
	1 昼光率	住戸居間の昼光率が2%以上としている	-	-	5.0	0.50		
	2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
	3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20		
<b>3.2 グレア対策</b>			<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50		
	1 照明器具のグレア		-	-	-	-		
	2 昼光制御	開口部に庇及びカーテンを設けている	2.0	1.00	4.0	1.00		
<b>3.3 照度</b>			<b>1.0</b>	0.15	-	-		
	1 照度		1.0	1.00	-	-		
	2 照度均斉度		-	-	-	-		
<b>3.4 照明制御</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>			<b>4.2</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00		<b>4.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>			<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63		
	1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外となる建築材料をを全面的に採用している	5.0	1.00	5.0	1.00		
	2 アスベスト対策		-	-	-	-		
	3 ダニ・カビ等		-	-	-	-		
	4 レジオネラ対策		-	-	-	-		
<b>4.2 換気</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38		
	1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
	2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33		
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
	4 給気計画		-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>			-	-	-	-		
	1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-		
	2 喫煙の制御		-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>			-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>			<b>1.0</b>	0.40	<b>1.6</b>	1.00		<b>1.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>1.0</b>	0.60	<b>1.0</b>	0.60		
	1 広さ・収納性		-	-	-	-		
	2 高度情報通信設備対応		-	-	1.0	1.00		
	3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>1.0</b>	0.40	<b>2.5</b>	0.40		
	1 広さ感・景観	居室天井高を2.5m以上としている	-	-	4.0	0.50		
	2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
	3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
<b>1.3 維持管理</b>			-	-	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-		
	2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>2.9</b>	0.31	-	-		<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.0</b>	0.48	-	-		
	1 耐震性		3.0	0.80	-	-		
	2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主としてB種を採用している	5.0	0.15	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			2.2	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			-	-	3.8	0.50	-
1	階高のゆとり	階高3.0m以上としている	-	-	5.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性	構造躯体内への埋め込み配管を無しとしている	4.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地率を80%以上としている	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制			5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		主たる照明にLEDを採用し、給湯設備にエコキュートを採用している	5.0	0.40	-	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装材と設備が錯綜しない納まりとなっている	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.4	0.22	-	-	3.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.6	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒	自然冷媒のエコキュートを採用している	4.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)に対して94%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-